

# VMT35 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 36kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、VMT35 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
VMT35 は 26V 型～ 40V 型の薄型テレビの取付用です。  
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは大切に保存してください。

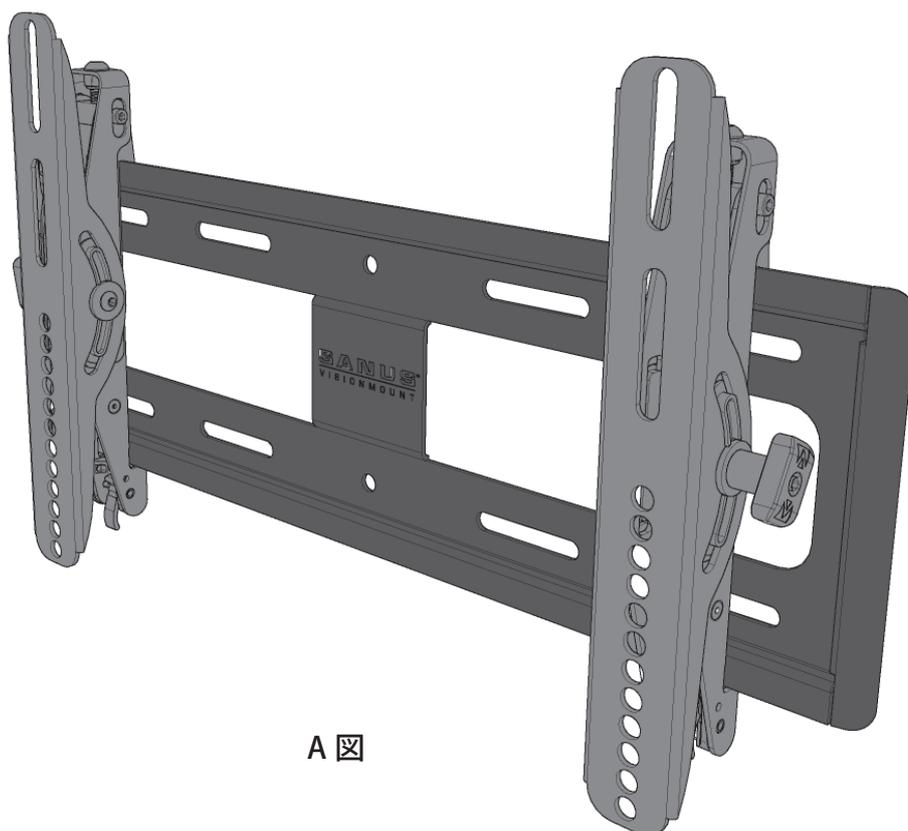
## お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

## 販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。

取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。



A 図

## 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。  
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

## 警告



禁止

壁の強度は少なくとも薄型テレビと VMT35 の合計重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。  
VMT35 壁掛け金具は、26V 型～40 型で、総重量 36kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。

テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。

破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

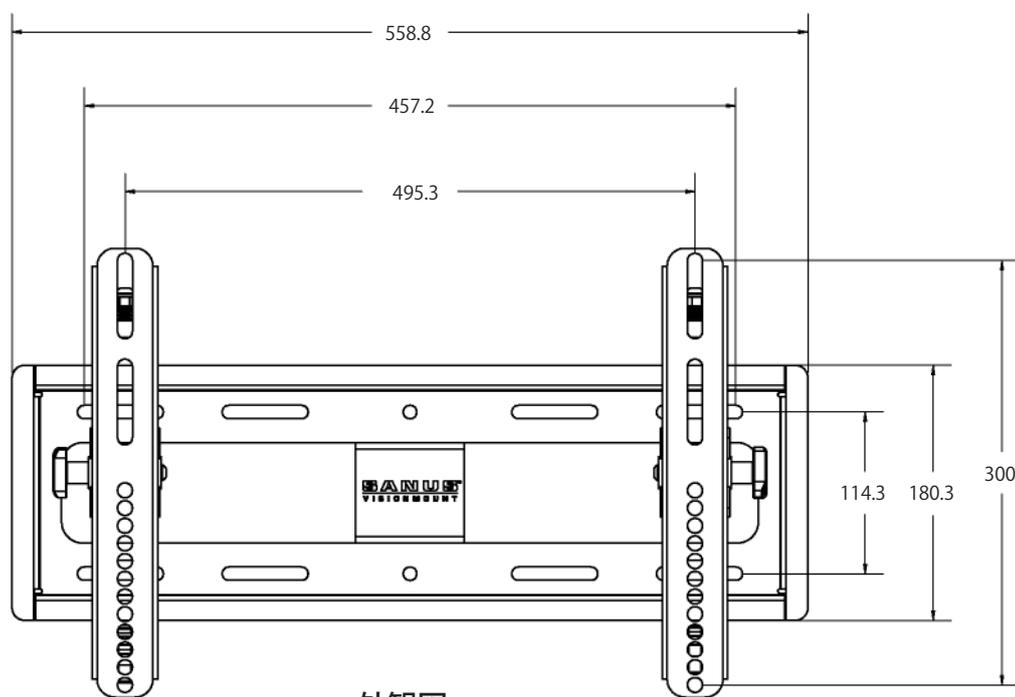
重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。 又この説明書は大切に、保管して下さい。

## 仕様

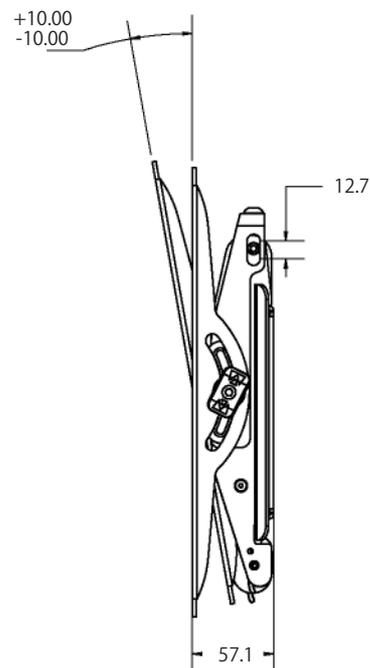
耐荷重 : 36kg (テレビと付属品を含みます) 超過しないようにして下さい。  
適応テレビサイズ : 26V型～40V型  
ティルト調整 : +10° -10°  
水平傾斜調整 : 12.7mm

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

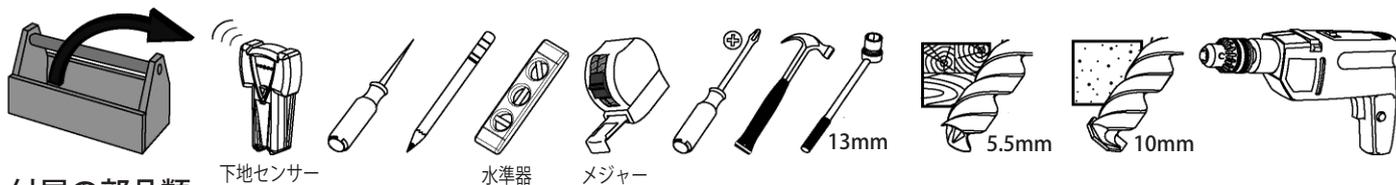
- ★ メーカーが指定している以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ 取り付け先の壁は、テレビと壁面取付金具の総重量の5倍の重量を支える強度がなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立て、使用について質問がある場合は、ネットワークジャパン株式会社に、又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。



B 図



## 必要な工具類



下地センサー

水準器

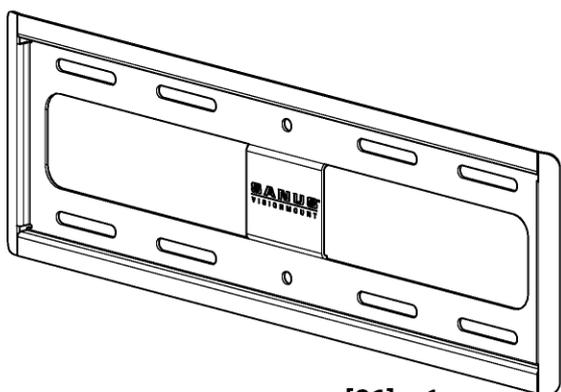
メジャー

5.5mm

10mm

## 付属の部品類

**⚠ 警告:** 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。  
 注記：M4、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の金具をすべて使用するわけではありません。

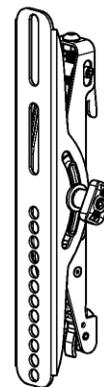


[01] x 1

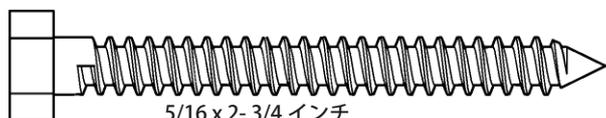
C ☒



[02] x 1

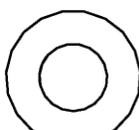


[03] x 1



5/16 x 2-3/4 インチ

[04] x 4



[05] x 4



[06] x 4



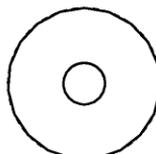
M4 x 12mm

[07] x 4



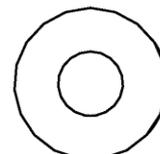
M4 x 30mm

[08] x 4



M4

[09] x 4



M6/M8

[10] x 4



M6 x 14mm

[11] x 4

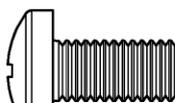


M6 x 40mm

[12] x 4



[13] x 4



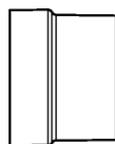
M8 x 16mm

[14] x 4

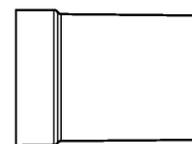


M8 x 40mm

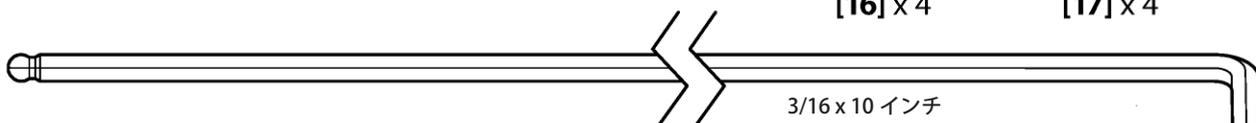
[15] x 4



14mm  
[16] x 4



24mm  
[17] x 4



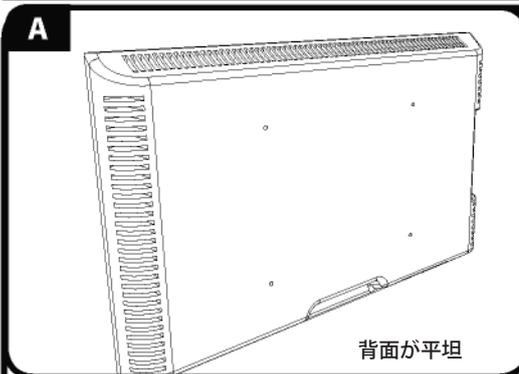
3/16 x 10 インチ

[18] x 1

# 1. テレビの取付に必要な部品を選択し、ブラケットを取り付ける



## 1-1 テレビの取付に必要なネジの口径と、長さを選択する

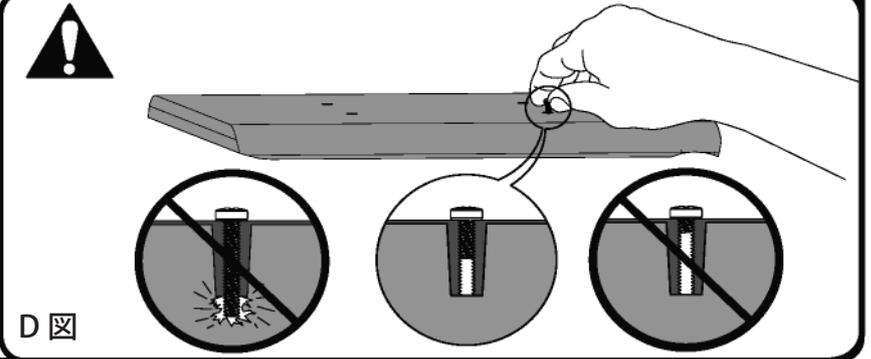
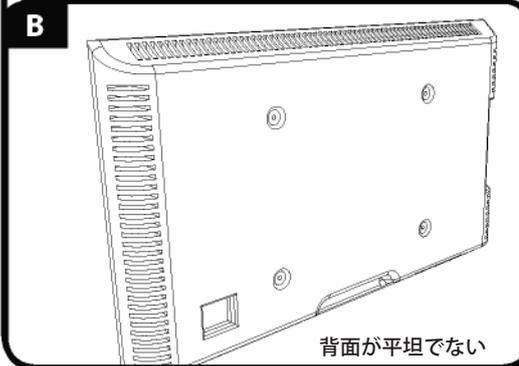


お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が決まります。  
下記のページに推奨される部品設定の中から、お使いのテレビのタイプに一致するものを選択してください。

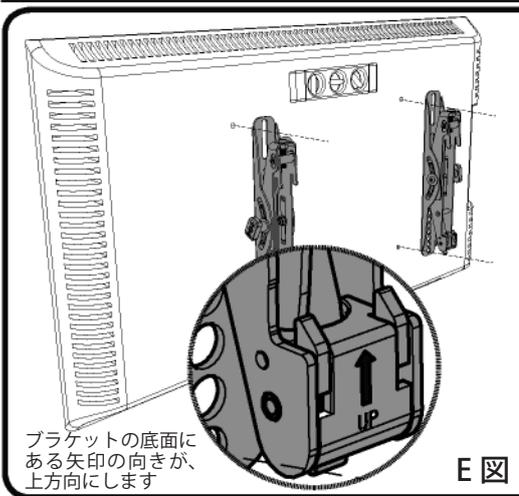
- A. スペースを使用しない取付 (背面が平らなテレビ向け)
  - B. 14 mm 又は 24mm のスペースを使用する取付 (背面が平らではないテレビ向け)
- テレビの背面のネジ穴に手でねじ込んで、正しいネジの直径 (M4、M6、または M8) を判断します。



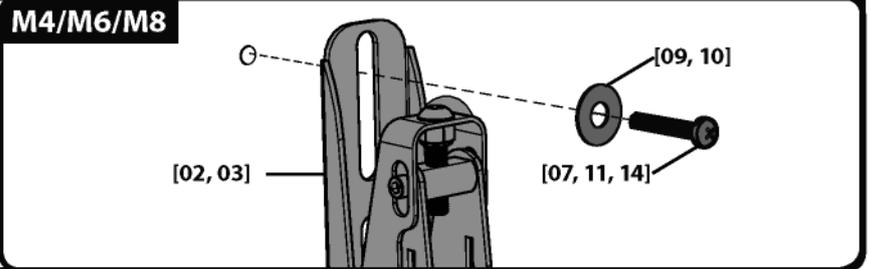
**注意:** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
テレビをブラケットで固定するためにネジの長さが十分かどうかを確認します。  
ねじ込んでいる時に抵抗があった場合、直ちに中止し、必要に応じて、最も短いネジとスペーサーを組み合わせて使用します。使用するネジが長すぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがあります。  
適切なネジの見つからない場合は、ネットワークジャパン (株) に問い合わせして下さい。



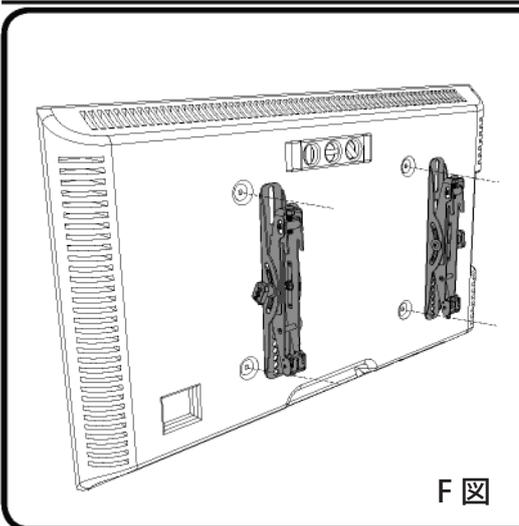
## 1-2 背面が平らなテレビにブラケットを取り付ける



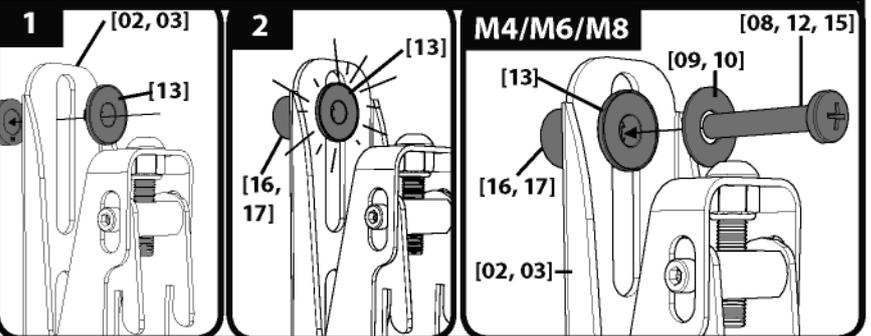
手順 1-1 の選択に応じて、部品を選択します。  
ブラケット [02] と [03] は、中央にあるつまみがテレビに対して左右の外側を向くように配置します。  
M4 x 12 mm ネジ [07] を選択した場合、M4 ワッシャー [09] を使用します。  
M6 x 14 mm ネジ [11]、又は M8 x 16mm [14] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [10] を使用します。  
ブラケットは、テレビの背面と水平になるようにしてください。  
ケーブル、窪み、または突起に対して余分なスペースが必要な場合は、次の 1-3 ステップの設定の中でいずれかを選択してください。



## 1-3 背面が平らでないテレビにブラケットを取り付ける

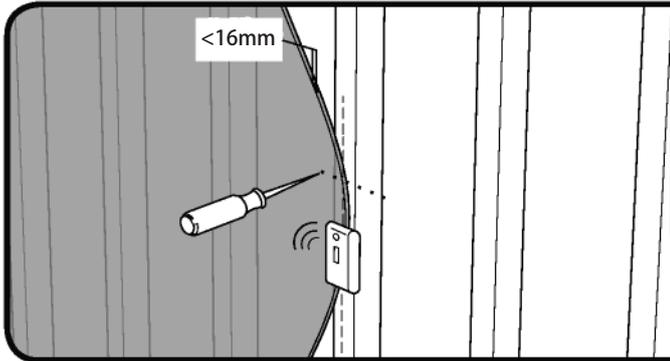


ショルダーワッシャー [13] とスペーサーをブラケット [02][03] に取り付けます。  
1. ブラケット [02][03] の適切な開口部にショルダワッシャー [13] を通します。  
2. 手順 1-1 で選択したスペーサー [16]、[17] にショルダーワッシャー [13] を取り付けます。  
ブラケットがテレビの背面に平行に取り付いている事を確認します。ブラケットの底面にある矢印の向きが、上方向に向いている事を確認します。下図の「M4/M6/M8 図」のように取り付けます。



## 2. 壁掛金具を取り付ける --- 木柱の場合

### 2-1 木柱の位置を探す



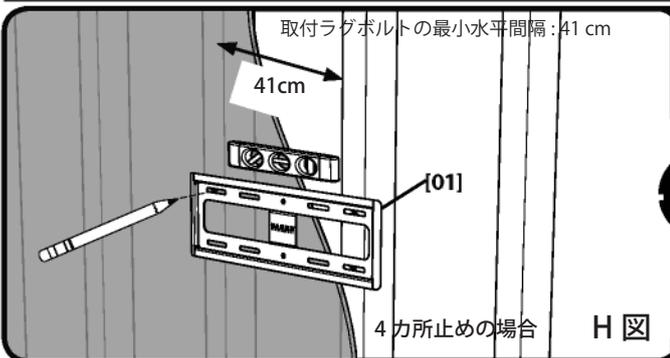
千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って、木柱の中央を確認します。

**⚠ 注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

- ★ 壁面の表面を覆う材料が 16 mm を超えないようにします。
- ★ 最小の木柱の寸法 : 通常 51 x 102 mm 小型 38 x 89 mm
- ★ 柱の留め具の間の最小の水平間隔 : 41 cm

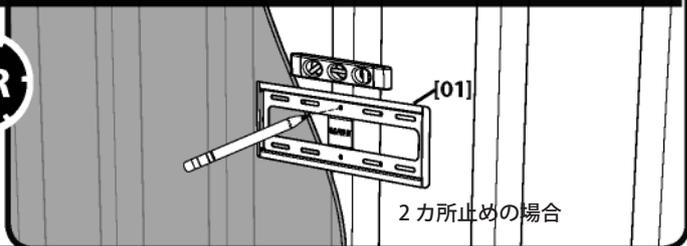
G 図

### 2-2 壁面に印を付ける



壁掛金具 [01] を水平に配置し、これを型紙代わりにして 4 カ所、又は 2 ケ所の穴位置に印を付けます。  
水準器があれば併用して下さい。

OR

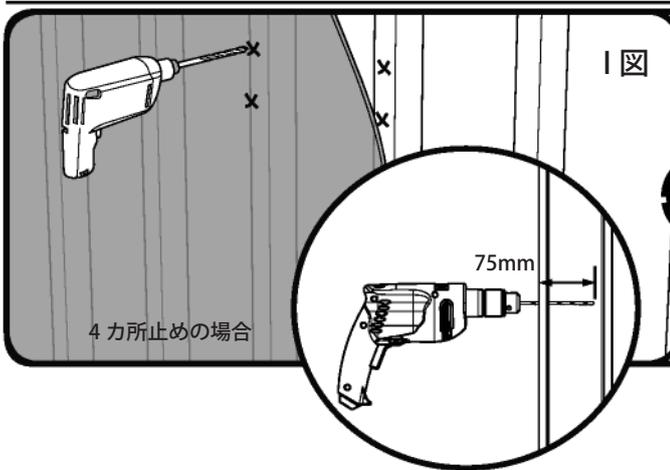


4 カ所止めの場合

H 図

2 カ所止めの場合

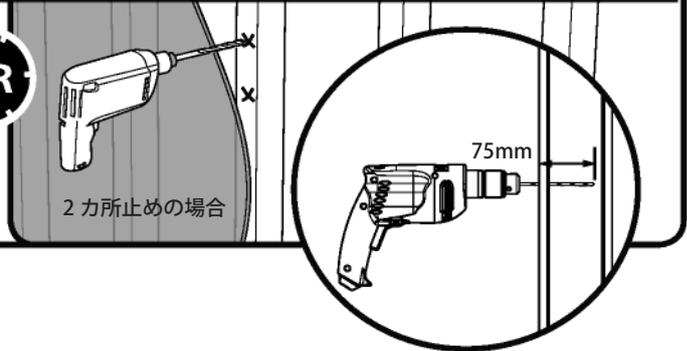
### 2-3 下穴を開ける



**⚠ 注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

下穴は、5.5mm 径のドリルビットを使って、必ず 75 mm の深さの穴を開けます。

OR



4 カ所止めの場合

I 図

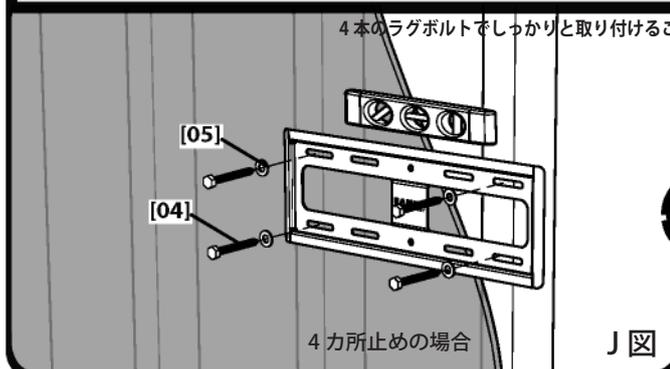
2 カ所止めの場合

### 2-4 ラグボルトをねじ込む

**⚠ 注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。 不適切なラグボルトの取付は、保持力を弱め、しっかりと支えることができません。

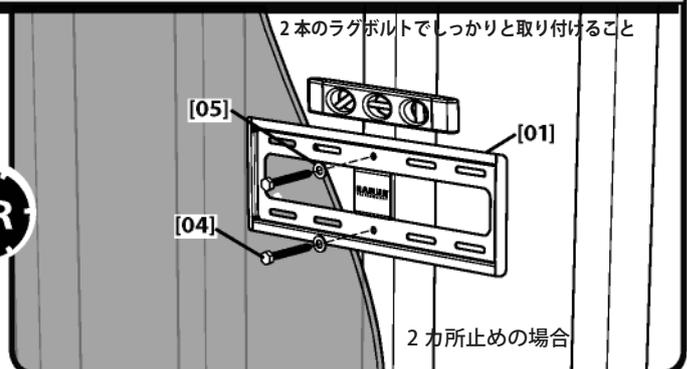
★ ラグボルト [04] を締めすぎないようにします。

★ ワッシャー [05] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [04] を締めます。



4 本のラグボルトでしっかりと取り付けること

OR



2 本のラグボルトでしっかりと取り付けること

4 カ所止めの場合

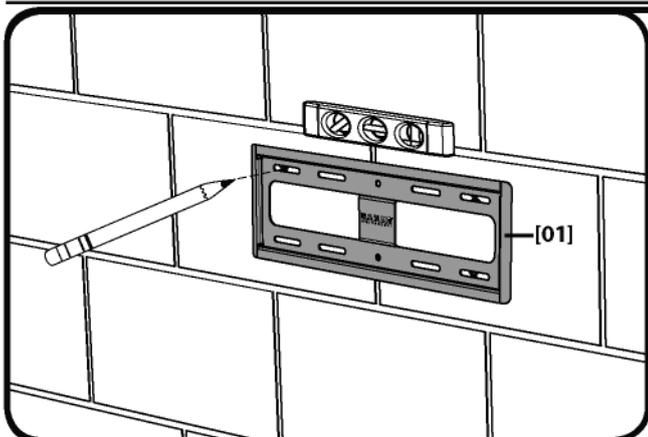
J 図

2 カ所止めの場合

## 2. 壁掛金具を取り付ける ----- コンクリート又はコンクリートブロックの場合



### 2-1 壁面に印を付ける



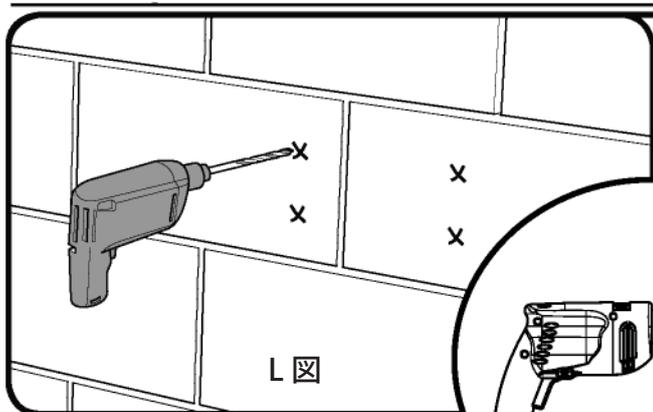
壁掛金具の型紙 [01] を水平にし、4ヶ所の穴位置に印を付けます。

**⚠ 注意:** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

- ★ 壁掛金具 [01] をコンクリート壁面に直接取り付けます。
- ★ コンクリートの最小厚さ: 203mm
- ★ コンクリートブロックの最小サイズ: 203 x 203 x 406 mm
- ★ 取付ラグボルトの最小の水平間隔: 41 cm

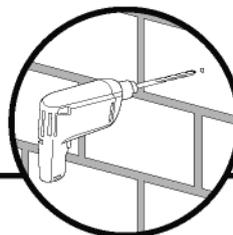
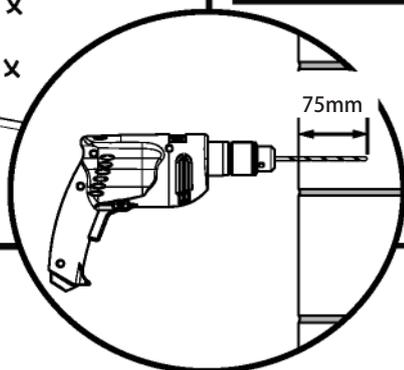
K 図

### 2-2 下穴を開ける



**⚠ 注意:** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

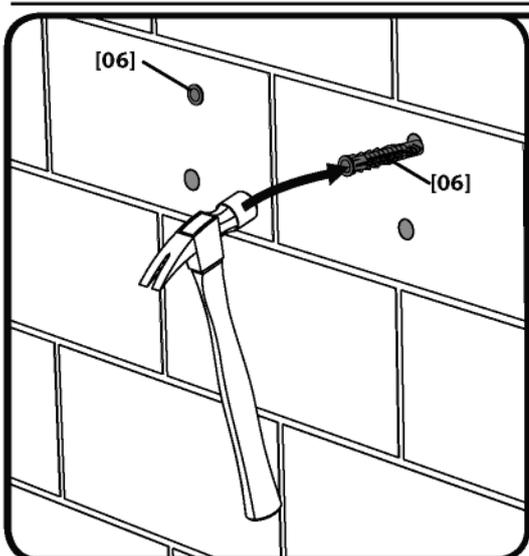
- ★ 下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、必ず 75 mm の深さの穴にします。
- ★ ブロックの間のモルタルには、ドリルで穴を開けないようにしてください。



取付場所

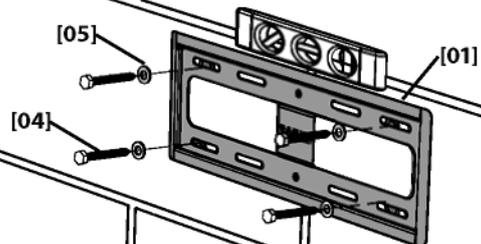
取付禁止場所

### 2-3 アンカーを挿入し、ラグボルトをねじ込む



ラグボルトアンカー [06] を挿入します。ラグボルト [04] をワッシャー [05] に挿入し、壁掛け金具 [01] に通して、次にアンカー [06] に 4ヶ所ねじ込みます。

**⚠ 注意:** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
不適切なラグボルトの取付は、テレビをしっかりと支えられません。  
ケガをしたり、壁面を破損しないようにするには、次の点に注意します。



- ★ アンカー [06] がコンクリート壁面にきちんと揃っていることを確認します。
- ★ ワッシャー [05] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [04] を締めます。
- ★ ラグボルト [04] を締めすぎないようにします。

M 図

4本のラグボルトでしっかり留めること

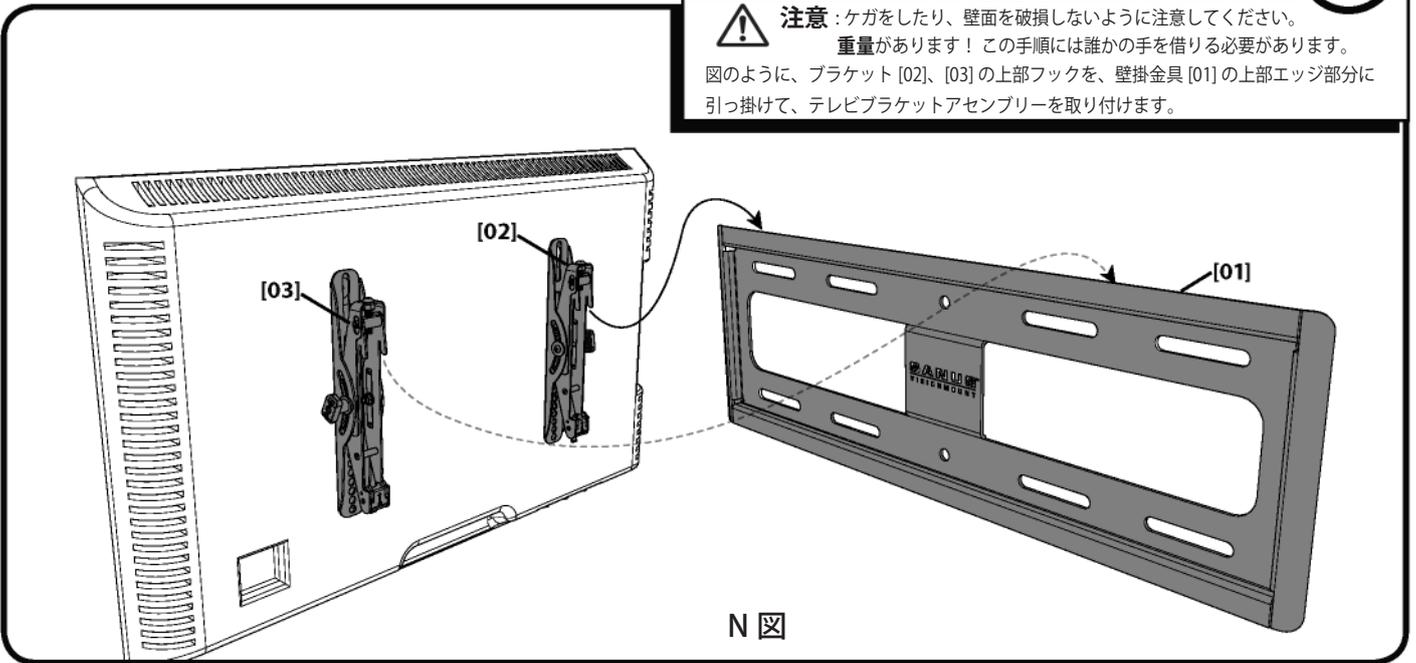
### 3. テレビを壁掛金具に取り付ける



**注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

**重量**があります！この手順には誰かの手を借りる必要があります。

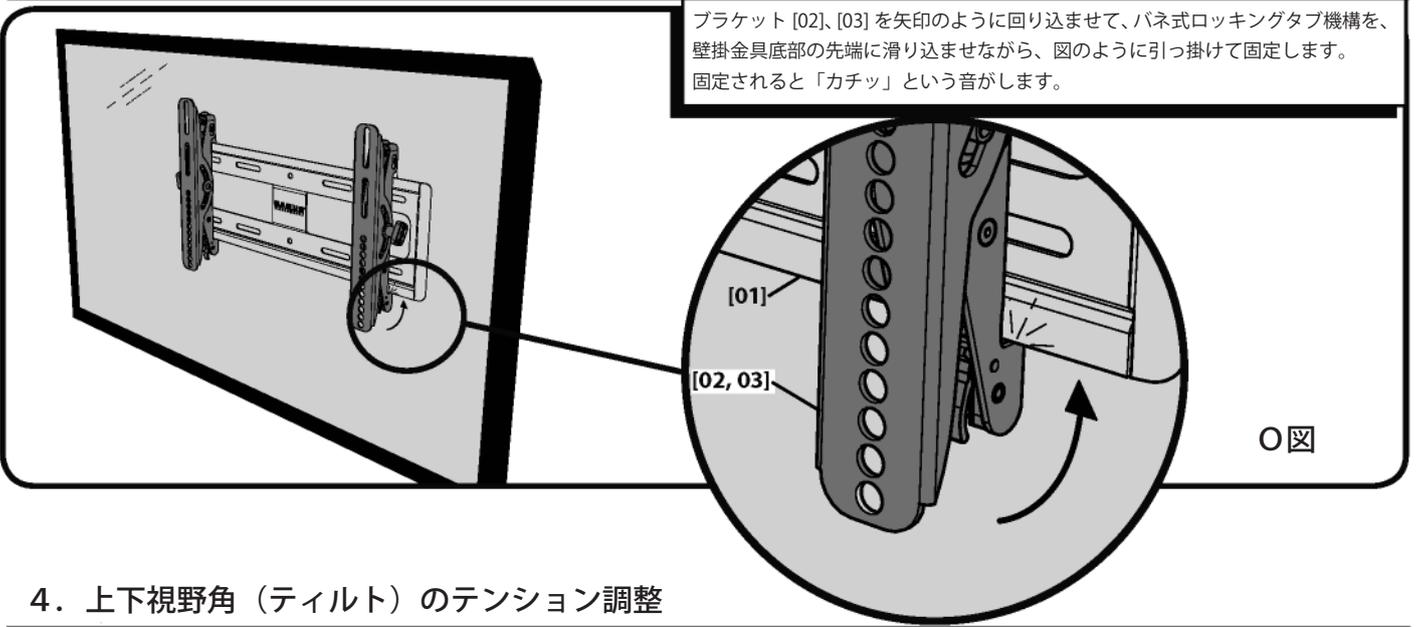
図のように、ブラケット [02]、[03] の上部フックを、壁掛金具 [01] の上部エッジ部分に引っ掛けて、テレビブラケットアセンブリーを取り付けます。



N 図

#### 3-1 ブラケット下部を壁掛金具に固定する

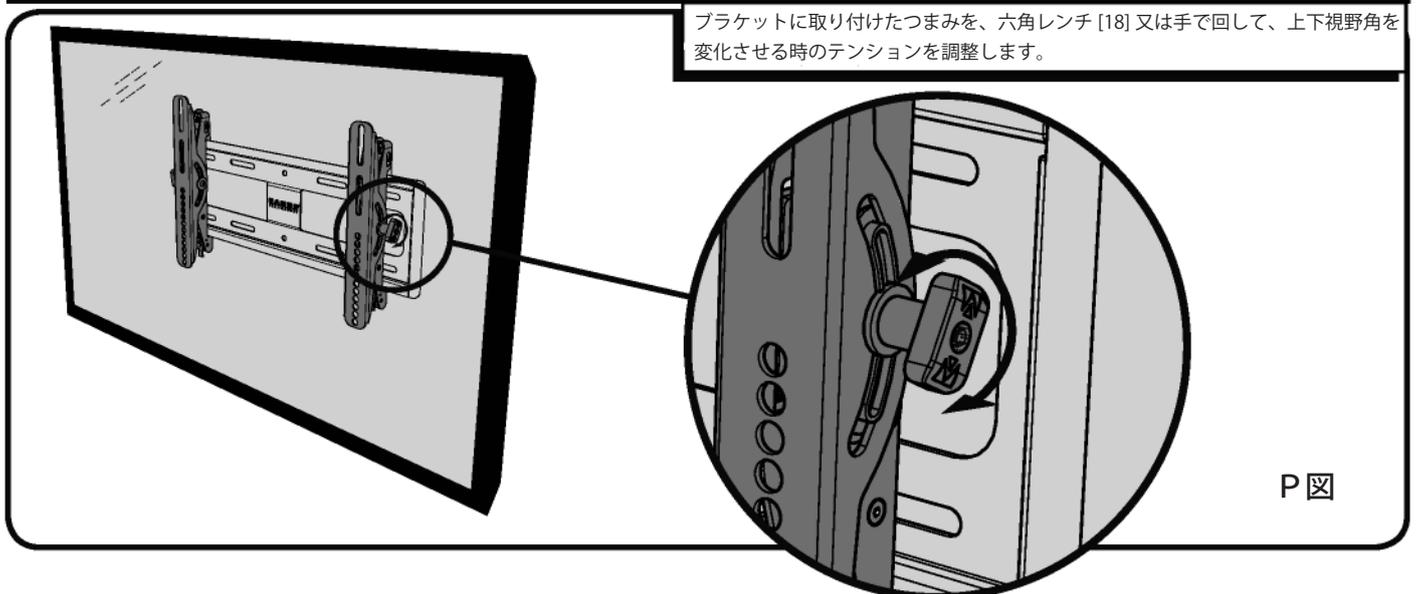
ブラケット [02]、[03] を矢印のように回り込ませて、バネ式ロックングタブ機構、壁掛金具底部の先端に滑り込ませながら、図のように引っ掛けて固定します。固定されると「カチッ」という音がします。



O 図

#### 4. 上下視野角（ティルト）のテンション調整

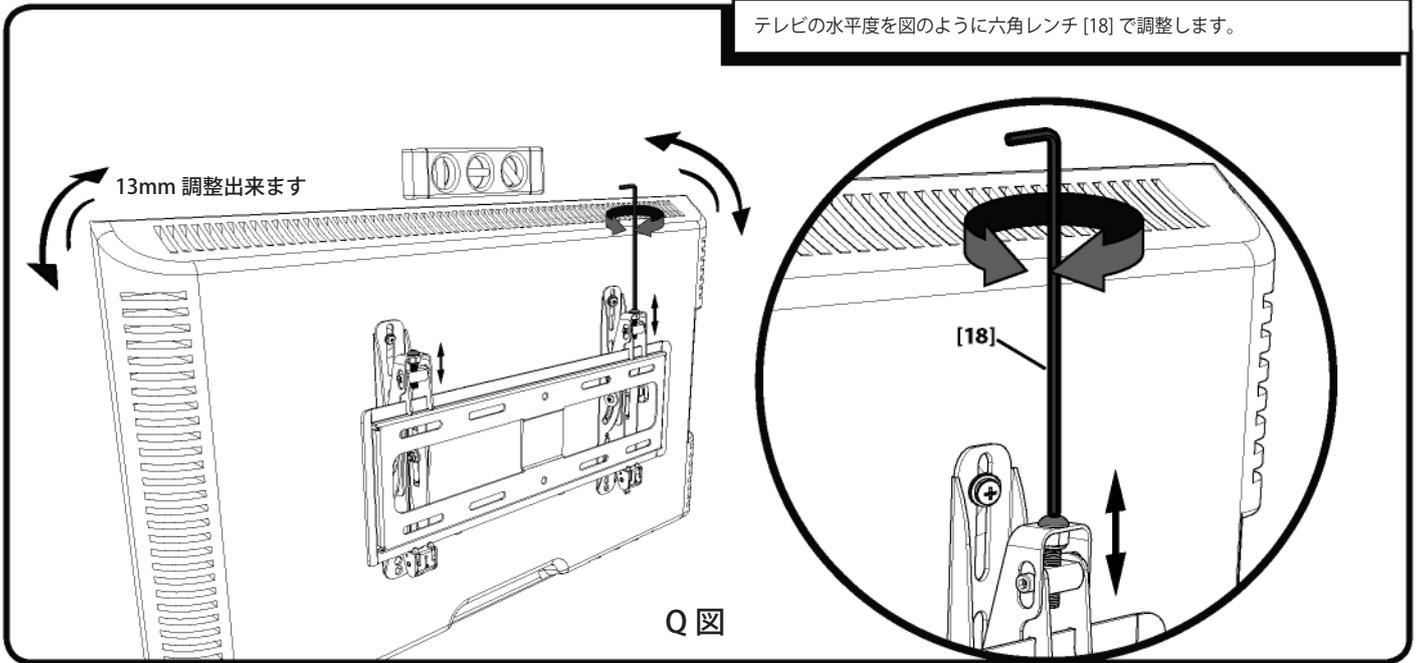
ブラケットに取り付けたつまみを、六角レンチ [18] 又は手で回して、上下視野角を変化させる時のテンションを調整します。



P 図

## 5. 水平調整

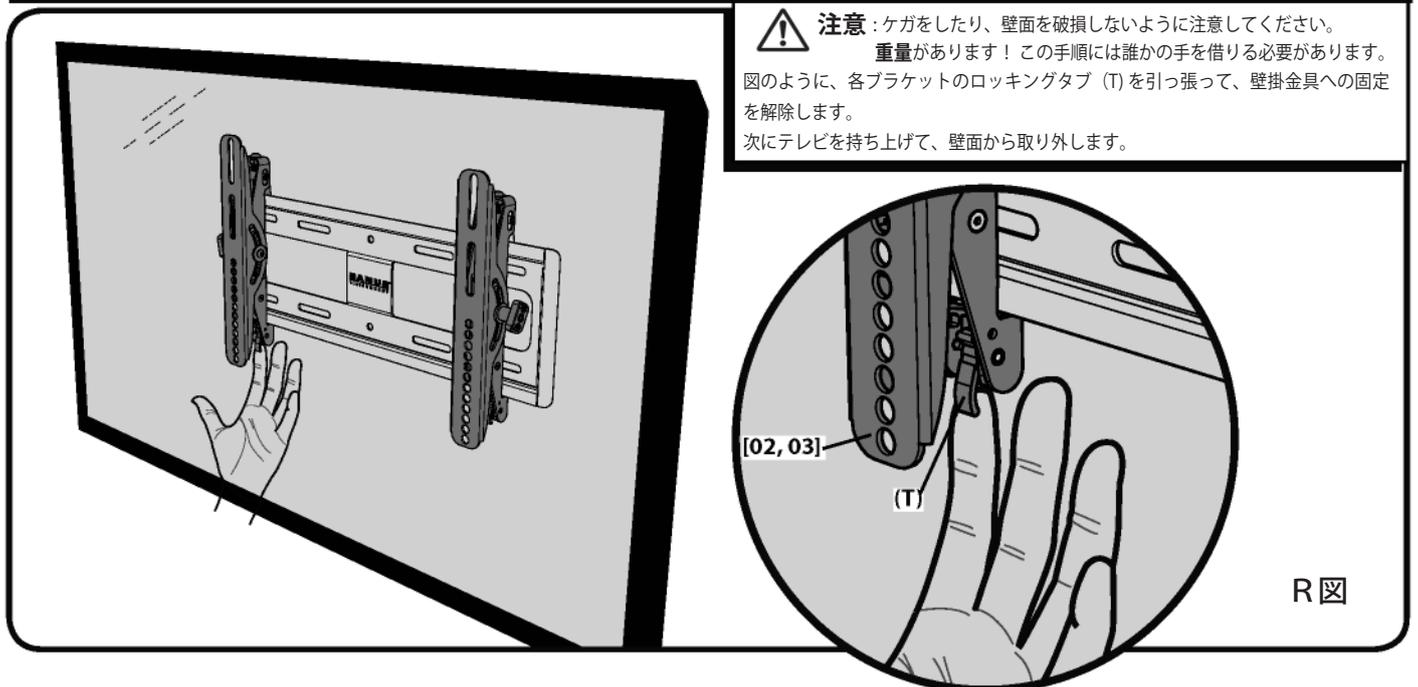
テレビの水平度を図のように六角レンチ [18] で調整します。



## テレビを壁掛金具から取り外す



**注意** :ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。  
重量があります！この手順には誰かの手を借りる必要があります。  
図のように、各ブラケットのロックングタブ (T) を引っ張って、壁掛金具への固定を解除します。  
次にテレビを持ち上げて、壁面から取り外します。



# Memo

A memo form with a header and 25 horizontal lines. The header is a rounded rectangle at the top. Below it are 25 horizontal lines, each forming a row for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the form.





Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ  
〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16  
ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050  
<http://www.network-jpn.com/> E-mail: [info@network-jpn.com](mailto:info@network-jpn.com)